

ぼだい樹 7号

2000/6/15

ホトトギス鳴きつる方を眺むれば

ただ 有明けの月ぞ 残れる

久しぶりに不如帰が「テッペンカケタカ」と喉から血を出すほどに鳴くと言う鳴声を聞かせてくれました。(6・3)

六号でお知らせいたしましたスタンプラリー(5月3・4・5日)は連休中の楽しいイベントとして、二回目を無事に終りました。十名のボランティアの参加を得て、トコロテンが、好天に恵まれて売れ行き良好でした。美味しいと誉めて頂き恐縮しました。次回は、工夫をして皆さんに楽しんでもらいます。名鉄津島駅でも一万歩コースのマップを作成するそうです。秋には宝寿院も組み入れられて、津島の町が賑わいを取り戻してくれそうです。

津島神社の大木も剪定され、サツキが六月の庭を一層美しく彩り、阿吽の象さんの門柱を入れてすぐ右の成道のお釈迦様を守るように、菩提樹の花が盛りを迎えています。素晴らしい香りです。

紫陽花あじあひや沙羅しゃら(夏椿)の白い花も、私を見

てねと、咲き競っています。見頃は6月中です。是非見にきて下さい。

五月中旬岩手県平泉の中尊寺へ、平泉の元観光課長の山田様にお招き頂き行って参りました。中尊寺の本尊一字金輪さまが四百年の記念行事でお開帳になり、拝観に出かけました。圧倒されてしばしその場を立てないほどでした。金色堂も創建当時のまばゆい光を取り戻し、平泉のシンボルとして永遠でした。藤原氏末裔と言われる弓道大師範の豪壮なお住まいを訪ねたり、追分を歌って舟下りをする猊鼻溪谷や、カッコウ団子で有名な深美溪谷の流れにすっかり心を奪われてしまいました。

光明殿に写真が架けてありますので、ご覧下さい。中尊寺金色堂前のもみじの苗を頂いてきましたので、大きくなるのを楽しみに待っています。又毛越寺の紅葉(八潮)の実生も、当院の庭ですくすくと育っています。育つと言えば、カラスが三羽巣立ちました。五月十日に飛び立ちましたが、三週間経っても親がえさを取り地蔵堂の屋根で騒いでいる子供たちに、運んでいきます。今年は親が新米らしくなかなか自立さ

せるのが困難のようです。なんとか三羽とも立派に育てて欲しいなあと、観察しています。枝の切られた銀杏の木のでっぺんで、雨の日は親が羽を広げて巣の雛を守っているのを始めて見ました。感動。

巣立ちはとて大変、枝が切られていますので、子供たちはダイビングする様に飛び立ちます。手も言葉も無いカラスが見事に飛び方をおしえ、おびえる子供たちに粘り強く勇気を出して飛ぶように、促す毎日を見ました。人間の親子に見せたいものです。上品なカラスの一家を紹介しますので、宝寿院へお参りの時はカーカーと一声鳴いて下さい。電線に一家が並びますよ。ヒヨドリ夫婦が砂あびをするほど毎日暑い日が続ぎ、食中毒のシーズンが到来しました。どうぞ、食品にご注意下さい。

八月二十四日のお施餓鬼を、お申し込みの時は、用紙に水子供養**九時の部**又は**一時の部**光明殿と、明記下さい。赤い水子のエプロンと帽子が縫いあわすだけになったものを用意しています。水子さんの供養のために縫って下さい。受付に有ります。お待ちしています。

〒496・0851 津島市神明町二番地 宝寿院
電 0567・25・4154

郵便振替 00880・9・28847 赤用紙

